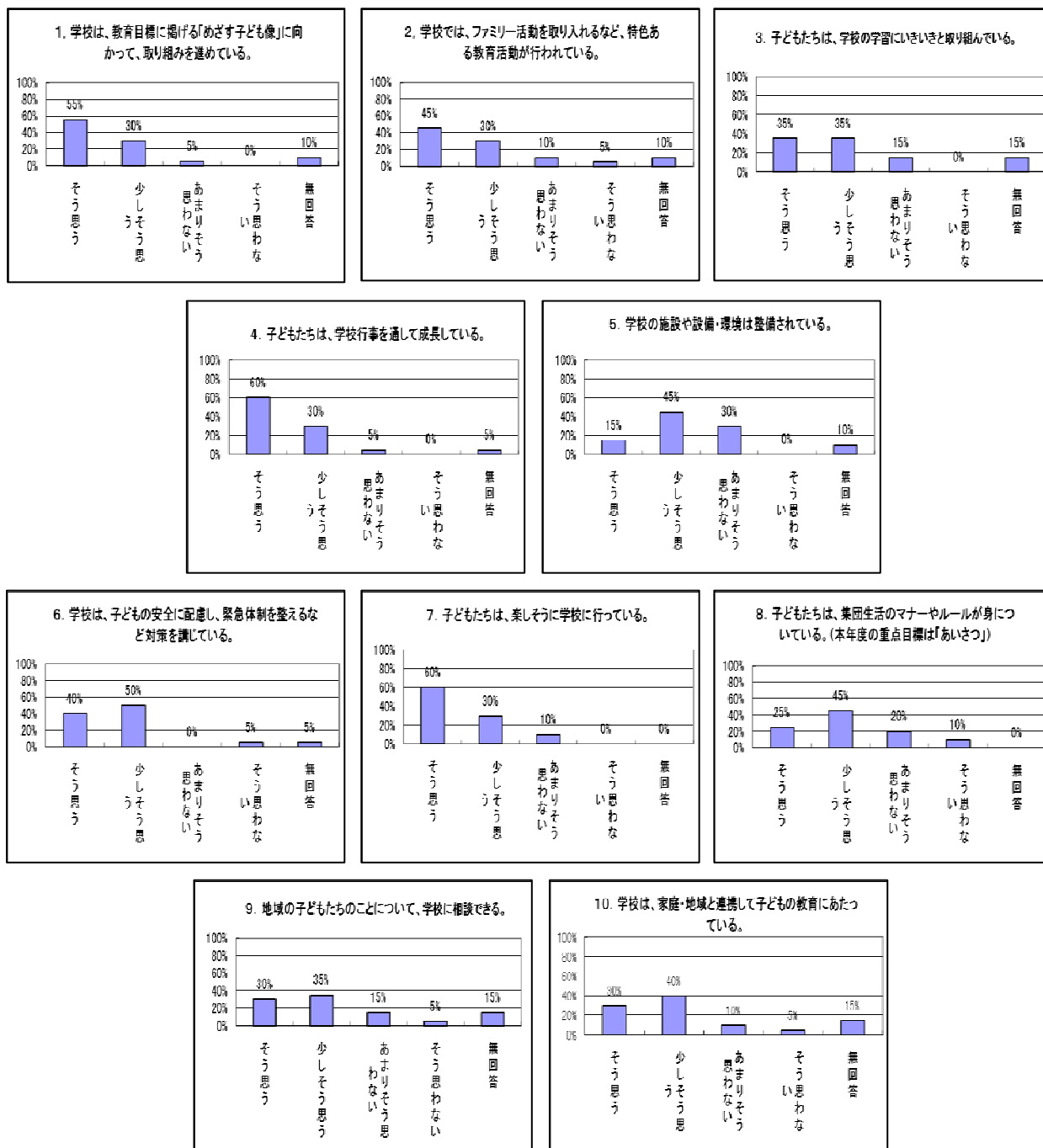


地域アンケート結果



アンケートからの考察

○ 本校では、「めざす子ども像」として、『自ら活動できる子』（よく考える子、なかのよい子、たくましい子、すすんではたらく子）を目標として掲げ、職員一同、普段の授業や生活、行事等、学校生活全般においてその「子ども像」を意識しながら指導しております。

☆ 88%の子どもたちが、「学校の勉強がよくわかる」については、「そう思う」「少しそう思う」と感じています。ただ一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」という子どもも12%おり、保護者のみなさんの中にも、学校の学習がよくわかっていないのではと感じておられる方が15%いらっしゃいます。今後もすべての子どもたちがわかる授業を目指して教職員全員で研修を深め、授業を工夫し、子どもたちが主体的に学び、目標に向かって粘り強く努力できるよう指導支援をしていきたいと思います。

- ☆ ファミリー活動などの特別活動や学校行事では、北陵小学校独自の特色ある教育活動が行われ、多くの方にお子さんの成長を感じていただいています。お子さんが楽しく学校に通っているというご家庭も多数でした。今後も、子どもたち全員が学校で楽しく過ごせるよう、子どもたちと話す機会をたくさん持ち、一人ひとりをよく理解し、子どもたち同士をつなぐ努力を続けていきます。
- ☆ 休み時間は、よく外で遊んでいる「そう思う」「少しそう思う」と回答している子どもが79%に対し「あまりそう思わない」「そう思わない」子が21%です。教室の中での遊びも大切ですが、子どもたちのつながりが少人数の固定されたものとなりがちです。クラス遊び、ファミリー遊びなど、運動場で遊ぶことにより縦横のつながりを広げていきたいと思います。
- ☆ 先生や友達の話をしっかり聞き、相手に応じた言葉遣いをし、思いやりの気持ちをもてるよう、ふだんの生活や授業の中でしっかりと取り組んでいきたいと思います。
- ☆ 係活動や掃除などをごんぱっている「そう思う」「少しそう思う」と回答している子どもが89%いました。今後も係活動や掃除など、責任を持って取り組めるように指導してきたいと思います。
- 学校が楽しいと思えるのは、学習が分かり、仲のいい友達がいることが関連しているようです。地域・保護者の方々から見ても、そう思っておられる方が多いと思います。気にかかる点として、学校が楽しくないと思っている子どもが9%います。また、困った時に相談できる人がいない子が18%いることも気にかかります。そう思う原因は何かを常に考えていく必要があります。学校でも、子どもたちと話す機会を多く持ち、一人ひとりの思いを受け止め、子ども同士をつなぐ努力をしていきます。そして全員が楽しく過ごせる学校を目指していきます。
- 本校では「あいさつ」を重点目標として、登校時、朝会、学級指導など様々な機会を通して、その励行を呼び掛けています。今年度も、児童会が中心となりあいさつ運動を行ってきました。校内だけでなくとどまらず、地域の皆さんにも進んであいさつをしていこうと取り組んでいます。地域・保護者の方々のアンケートでは、やや評価が低いですが、子どもたちの中では元気よくあいさつをしている「そう思う」「少しそう思う」と回答している子どもが77%います。皆様にもそう感じていただけるよう、あいさつの中身についても考えさせていきたいと思います。今後も声を掛け合っていけるようご協力よろしくお願い致します。
- 子どもの安全面を配慮し、今年度から不審者対応訓練を行うなど防災訓練についてより実際の場面に即した訓練になるようにつとめていますが、校舎内は走らない等安全に気を付けた行動がとれていない子どもがアンケート結果で30%もいて、子どもたちがあまり意識していないのが気にかかります。今年度新たに生活委員会を立ち上げ、意識付けを行ってきました。学校生活が安全に過ごせるよう、今後も根気強く指導してきたいと思います。
- 教室不足（特に図書室）で、子どもたちには十分なスペースを確保する事ができずにいますが、図書ボランティアの方々のおかげで、使いやすく改善されています。このように、校内で改善できる点につきましては努力していきますが、対応できない施設や設備・環境につきましては引き続き関係各所に改善を要望していきます。
- 今後も、日頃より保護者・地域の皆様との連絡を密にし、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちの育成にあたっていけるよう努力を続けていきます。同時に、子どもたちや保護者地域の皆様が気軽に相談できる関係づくりにも努めていきたいと考えています。お気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。どうぞよろしくお願い致します。

学校評議員・保護者代表

（児童・保護者・地域のアンケート結果もとにご意見をいただきました。）

- ・ アンケート結果を見て、概ね安心できる評価です。
- ・ 「学校は、家庭・地域と連携して子どもの教育にあたっている」では、学校安全協力員等から意見を聞いたり、学級懇談会・PとTの語る会を充実したり、さらに学校支援ボランティアを積極的に受け入れて三者の連携を深めていく必要があります。
- ・ 「子どもたちは、集団生活のマナーやルールが身につけている」では、保護者・地域とも「そう思う」が25%で、「少しそう思う」が45%～50%で、今後は保護者の皆様のご理解を得ながら一緒になって取り組んでいく必要があります。
- ・ 保護者・地域ともに90%以上の方が「子どもたちは、行事を通して成長している。」と評価していただいています。行事の重要性を強く感じるが、授業時数の制限もあり、今後は行事の精選と充実にいっそう努める必要があります。また、東谷中学校が行事・挨拶・清掃に力を入れているが、本校の特色とも似ており関連を意識して取り組むことが大切です。

※3月末に同様のアンケート結果を学校ホームページにも掲載いたします。